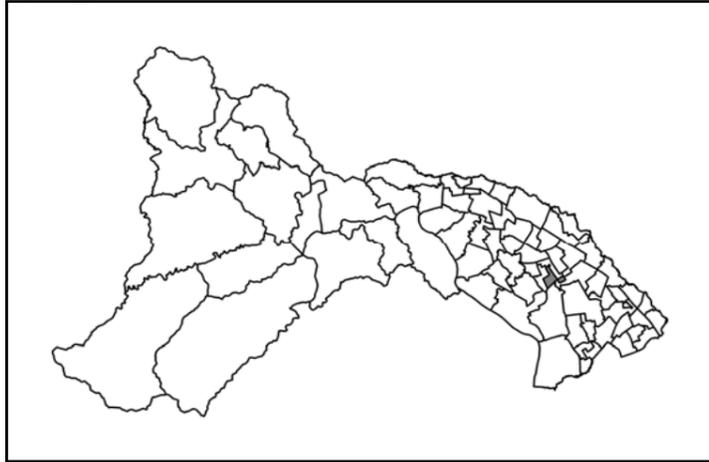


○地区を構成する町丁

【中央区】青葉2丁目・3丁目、並木4丁目、緑が丘

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

光が丘(法人並木四丁目, 青葉3丁目, 緑が丘1丁目, 緑が丘2丁目), 麻溝(さいこが丘)

○地区概況

台地(上段)にあり、地区の中央から東には浅い谷がある。大部分が住宅地であり、一戸建住宅が多い。西端は県道507号相武台相模原線に接する。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)
建物	木造(昭和55年以前)	678	棟	
	木造(昭和56年以降)	1,333	棟	
	非木造(昭和55年以前)	44	棟	
	非木造(昭和56年以降)	237	棟	
合計		2,292	棟	
人口		区分		人口(人)
人口	0~4歳	203	人	
	5~64歳	4,881	人	
	65歳以上	2,113	人	
	合計	7,197	人	

○所見

- 全体に整然とした区画の住宅地であるが、生活道路は狭いところも見られる。
- 中央部および南東部の浅い谷は周囲より2~3m低い。
- 富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	光が丘連絡所, 光が丘公民館
警察署	
消防署	緑が丘分署
消防団詰所	
病院等	青葉ふたまたクリニック
主な災害時要援護者施設	ニチイケアセンターみどりがおか, 医療法人社団相和会介護老人保健施設 青葉の郷
幼稚園、保育園	
学校、大学	青葉小学校, 緑が丘中学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	緑が丘中学校, 青葉小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	緑が丘分署防災倉庫, 青葉小学校, 緑が丘中学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

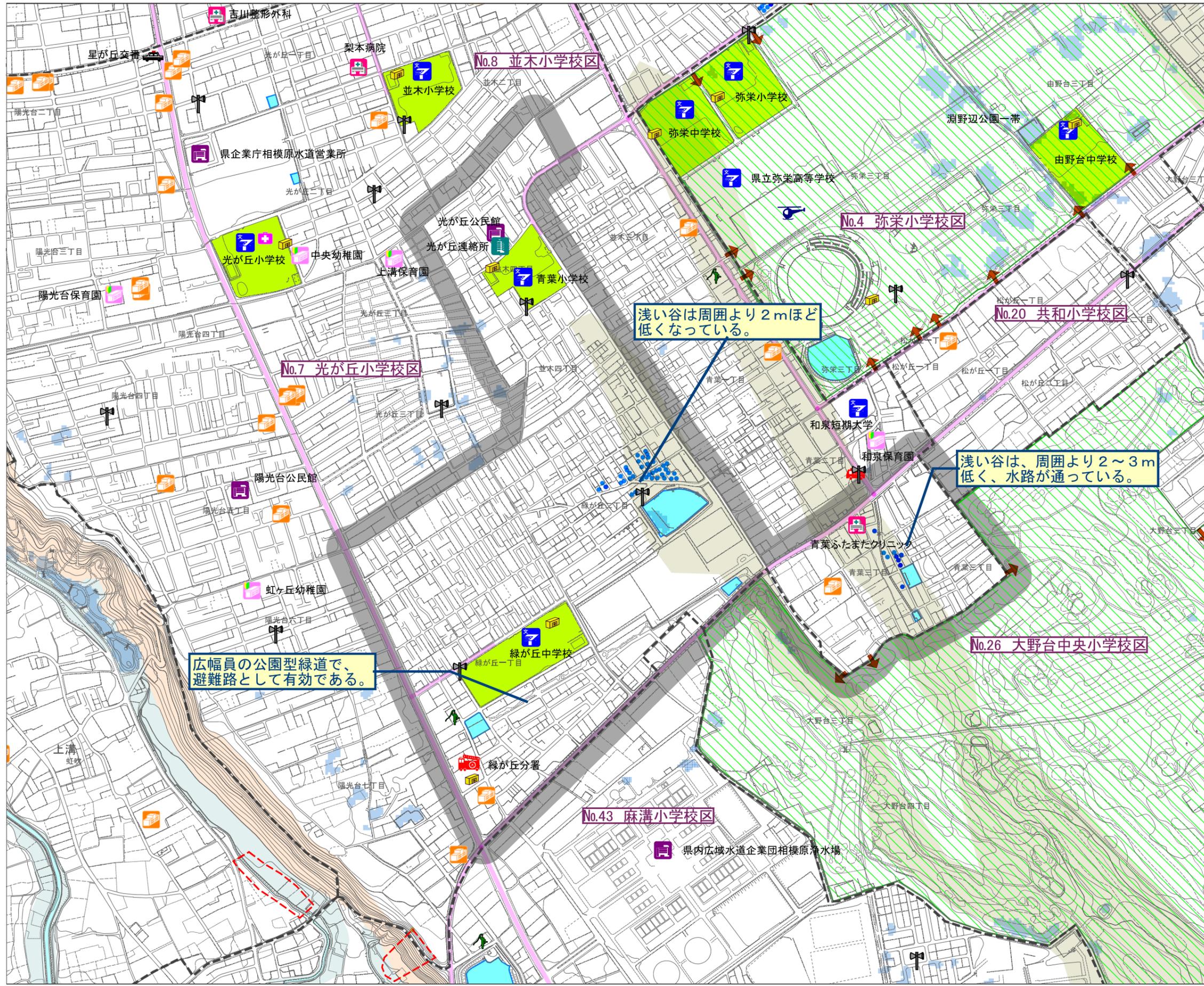
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	116 棟	5.0 %	31 棟	1.3 %	18 棟	0.8 %
建物焼失	43 棟	1.9 %	3 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	8 人	0.1 %	2 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	29 人	0.4 %	8 人	0.1 %	4 人	0.1 %
重傷者	7 人	0.1 %	2 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	48 人	0.7 %	26 人	0.4 %	20 人	0.3 %
避難所避難者(当日)	264 人	3.7 %	78 人	1.1 %	51 人	0.7 %
避難所避難者(1週間後)	504 人	7.0 %	280 人	3.9 %	229 人	3.2 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc;"></div>
土砂災害	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc;"></div>
地震による地盤災害	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc;"></div>
地震による建物被害、火災	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc;"></div>

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水5戸  
 平成 2年 9月30日 床下浸水1戸  
 平成 2年11月30日 床下浸水1戸  
 平成 3年 9月19日 床下浸水9戸、床上浸水38戸  
 平成11年 8月14日 床下浸水5戸



地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

